

ナカノさん交流会「ナカナカ会 ~中野の仲間と語らう会~」レポート

中野区シティプロモーション「中野大好きナカノさん」プロジェクト ちびナカノさんと過ごした2週間を語り合う！

ナカノさんのデビューからおよそ2ヶ月が経った3月23日(土)、中野好きのみなさんと中野の魅力語り合う交流会「ナカナカ会」を開催しました。

定員以上のご応募をいただくなか、抽選によりご参加いただいたのは30名の皆さん。事前に貸し出した「ちびナカノさん」を、自分の好きな中野の風景のなかで撮影してもらい、写真を披露しながら中野の魅力について語っていただきました。

酒井区長をはじめ、ゲストに写真家の池田晶紀さん、SNS専門家の武者慶佑さんを迎え、参加者同士で想いを語りあう、活気あふれる交流会となりました。

ナカノさんって、何者？



まず最初に、酒井区長から「この企画を担当者から聞いたときは、人が集まってくれるのか不安に思っていたのですが、中野愛を持った方々がこんなに多くいらっしゃるんだと、心強く感じています。今日は、中野好きじゃないと楽しめないと思いますが(笑)、ぜひ最後までお楽しみください」との挨拶からスタート。そして、ナカノさんとは何者なのか?という疑問について、改めて区より説明がありました。「このプロジェクトは地域ぐるみで取り組む中野区シティプロモーションの一環です。中野に憧れてやってきたナカノさんが、中野を再発見していくというストーリーで展開しています。

人形であるナカノさんを一人の新しい仲間として認めて、そんなナカノさんが中野を語るからこそ"中野らしさ"であり、世界へ発信していきたいと考えています」と、ナカノさんプロジェクトに込めた思いが語られました。また、現時点のナカノさんの活躍ぶりについては「SNSなどでは、すでにさまざまな反響をいただいています。そして今後、区民とのふれあいのミッションを背負っているのが、ちびナカノさんです。今もイベントに参加したりお店に出張したりと活躍中です。ただし、このプロジェクトの主役は、あくまでまちを愛するみなさんです。みなさんに、ナカノさんと一緒に中野区を盛り上げていただけたらと思います」と、期待が寄せられました。



中野大好き酒井区長の「私の好きな中野」トーク



「"中野のここが好き"という私の個人的な話をするだけのコーナーなのですが…」と前置きしたうえで、「大学進学で上京して中野に住んで、卒業後には中野区役所に入り、以後ほぼ中野区に住んでいます」と、長い中野歴のなかで親しんだお気に入りスポットが多々あることが紹介されました。例えば学生時代に通った思い出の喫茶店、職員時代に通った懐かしい定食屋、結婚して一度は中野を離れたものの5年で戻り、お気に入りのヤキトン屋に近い野方で暮らしていること、現在も常連となっている飲食店の数々と、休日のブロードウェイでのお買い物コースまで、予備情報たっぷりに披露いただきました。

「中野は都心に近くて利便性が良いと自慢しながら、自分は中野からほとんど出ていないということに気づきました(笑)」と、中野愛あふれる熱いトークに、参加者たちも大いに盛り上がりました。



ゲストトーク①

写真家 池田晶紀氏による「写真を活用した地域の魅力の伝え方」



ゲストトークお一人目は、雑誌「SWITCH」で区長と対談し、ナカノさんと区長の初の対面シーンも撮影いただいた写真家の池田晶紀さんです。

「僕は仕事で人に会うことが多いです。高橋優さんのミュージックビデオの制作では、歌詞に、「誰かの笑顔につられるように、こっちまで笑顔が写るように」というフレーズがあり、すごく写真的だなと思って、2週間で全国の246人の笑顔を撮りに行きました。写真には関係性が写るんですね。人物撮影＝ポートレートというのは、人に会うこと、僕は今あなたと会っているよ、という写真なんだと思います。



今回僕は、自分がよく行くお店にナカノさんを連れ出して写真を撮りました。自分の居場所にナカノさんがいて、同時に、そこに写真を撮っている自分もいる、ということが大事なポイントだと思います。

このお店がおいしい!この街が面白い!行ってみて!という気持ちを発信するなら、そこに自分がいるという思い出になる写真を撮れたら良いかなと思います。

実は僕は目黒区民なのですが、みなさんの写真を見てそこへ行ってみたい、と行き来できるようになればなと期待しています」

ゲストトーク②

SNS専門家 武者慶佑氏による「シティプロモーションとSNSと中野の未来」



ゲストトークお二人目は、中野区在住のSNS専門家、株式会社シェアコトの武者慶佑さんです。

「僕は中野区民です。中野歴は2011年から8年になりますが、中野に骨を埋めたいと思うくらい中野が好きで、今回も区民として参加しているつもりです(笑)。

中野区がプロモーションでSNSを推進する理由は、「発信力」と中野区への「応援熱」を作り出すためかなと思いますが、実は「熱」を作り出せるのもSNSの特徴です。



今日、参加されたみなさんの共通項は、きっと「中野区が好き」という気持ちですよね。成功のためには、その気持ちをプロモーションに向かせ続けることが重要だと思います。

ナカノさんを使ってSNSでできることは「拡散する」「写真を使う」「コミュニティを作る」ことかなと思いますが、拡散に重要なのは時事性とニュース性。写真を使うならインスタ映えよりも、どんなハッシュタグをつけるか想定して撮ること。

そして、中野という大きなテーマにナカノさんをひとつ加えると、共通項が小さくなって会話が弾み、熱量が高まってSNS上にコミュニティが生まれます。新たな中野区好きのコミュニティを形成する、ナカノさんはその媒介役になってくれると思っています」

ちびナカノさんとブラ中野トーク～みなさんの"中野のお気に入り"～



ゲストトークののち、休憩を挟んで、いよいよ参加者のみなさんが撮影されたちびナカノさん写真のお披露目会です。

休憩時間中も、持参したお互いのちびナカノさん同士を見比べて、表情の違いを面白がるなど、ちびナカノさん話が弾んでいました。

もちろん投稿してくださった作品も、どれも熱量が伝わる傑作ばかり。「中野ランニングフェスタと一緒に走るちびナカノさん」「ショーケースに並ぶ多様な人形の中に混ぜてもらったちびナカノさん」「中野区役所前のお犬様像に弄ばれるちびナカノさん」など、映し出されるスライドごとに撮影者がエピソードを披露すると、会場から共感や質問などの声もあがって賑やかに進行しました。

最後に、今回披露できなかった全投稿写真をまとめたオリジナル動画を鑑賞。鑑賞中もツッコミあり、歓声ありで、笑顔が広がりました。本当に素敵なお写真をありがとうございました!!



鑑賞を終えて。ゲストお二人からメッセージ

池田さん

「武者さんのお話にあった、誰に向けて発信するのかという視点はすごく大事で、次の課題かなと僕も思いました。

あと個人的には、もう、この場が素晴らしいと思います。みんな喜んで、面白がって写真を投稿されていて、それぞれのエピソードに拍手しあっている。小さなコミュニティはこうやってできるんだなと。すばらしい!うらやましいです。

僕も引っ越そう(笑)」

武者さん

「僕もこのプロジェクトは、内側でのコミュニティづくりが一番向いているのではと思っています。あとは、これをどうやったら続けていけるのか、ですね。一人の区民としては、まず今日、皆さんとお会いできたことが良かったです」

質疑応答と閉会のご挨拶

最後に改めて質疑応答が行われ、参加者から今後のプロジェクトの展開についてや、ちびナカノさんの使われ方、耳寄りな提案など、さまざまな声が寄せられ、時間ギリギリまで熱気に包まれていました。

そして最後に区長より「私自身ほんとうに楽しかったです。もう本日で返却なので、明日からちびナカノさんいないんだ...と思うと悲しくなりますが、そんな愛されるちびナカノさん、これからもいろんな形で展開を考えていこうと思いますので、引き続き応援していただけたらと思います!」と挨拶があり、第1回ナカナカ会は締めくくられました。ご参加いただいた皆さん、長時間ありがとうございました!



参加者インタビュー



橋本正太郎さん (会社役員／中野区在住)

みんなで協力して発信する、というのはすごくいいと思いました。一過性で終わらず、ナカノさんを根付かせていくことが大事だなと思います。

人によってナカノさんの捉え方もさまざまだと思いますが、僕らは今回、区が挑戦をしてくれたと感じています。今後もいろいろ実験しながら、みんなで大事にプロジェクトとして育てていけたらと思います。可能性がありそうなので期待は大きいです。



村松恵さん (主婦／中野区在住／写真中央)

今日は、外国からホームステイに来ている学生たちと一緒に参加しました。池田さん、武者さんのお話はとても勉強になりました。私自身はユルくやっていたい派なので、力を入れずに長く続けるというのも中野っぽいかなとか考えていました。面白かったのは、みんなが中野の好きなところを、わいわい話していたこと。マニアックで中野っぽいなと思いました

ムントーニ・サラさん(左)

最初はどんな感じかなと思ったけど、みんなの写真も区長のお話も、面白かったです。お酒好きな人が多かったのですが、みなさんのお気に入りの場所を見ることができて嬉しいです。

アロバーノワ・アリナさん(右)

ナカノさんかかわいいです。今日は楽しかったです。